

# 木住野 佳子

## ピアノコンサート



2010年

10/8 [金]

18:30 開演 (18:00 開場)

会場：會津風雅堂

### 演奏予定曲目

- ♪ ニュー・シネマ・パラダイス
- ♪ ダニー・ボーイ
- ♪ ワルツ・フォー・デビー
- ♪ 雪待月    ♪ シチリアーノ    ほか

全席指定 (税込)

一般 2,500 円、大学生以下の学生 1,000 円

※未就学児童の入場・同伴はできません

前売券販売所

會津風雅堂、アピタ会津若松店、会津町方伝承館、アピオスペース、  
栄町オサダ、ミュージックプラザ白水堂会津若松店、カワイ会津若松ショップ、  
喜多方プラザ、みなみやま観光、會津風雅堂のホームページ

會津風雅堂携帯サイト



會津風雅堂のホームページ及び携帯サイトで  
チケットの「座席指定予約」ができます。

※無料の会員登録が必要です

◎この公演のチケットは電話でもお申し込みを受付けます。宅急便の代金引換でお届けいたします。

※受付時間：初日は14:00より、翌日以降は8:30～17:00

お問い合わせ・お電話でのお申し込み 會津風雅堂 TEL. 0242-27-0900

# YOSHIKO KISHINO PIANO CONCERT

會津風雅堂のベーゼンドルファーピアノの魅力、ピアニスト 木住野佳子が、ジャズ・フィールドをベースにオリジナルからクラシックまでジャンルにとらわれない独自のスタイルでお届けします。



## 木住野 佳子 YOSHIKO KISHINO

1995年、名門レーベル、GRP インターナショナルより日本人で唯一のアーティストとして1stアルバム「フェアリー・テイル」(ニューヨーク録音)をリリース、ワールド・ワイドに衝撃的なデビューを飾り本格的にジャズ・アーティストとしての地位を築く。2002年までに7枚のアルバムをリリース、特に1999年発売の4thアルバム「ユー・アー・ソー・ビューティフル」はジャズでは異例の5万枚を超えるセールスを記録。

2002年には話題のユニット、orange pekoeのアルバムに、また江角マキコ、豊川悦司主演の映画「命」のサウンド・トラックにも参加した。また約2年ぶりのアルバム「SIESTA」をリリース。CMではパナソニック「Let's Note」の曲を書き下ろし全国でオンエアされた。また、アサヒ飲料「おいしい旨」では木住野作詞、作曲の「シエスタ」が白鳥英美子の唄で再カバーされた。同年、自身がこよなく愛するピアノ・ベーゼンドルファーの本社(当時ウィーン)とオフィシャル・アーティストの契約を締結。

2003年には待望のベストアルバム「Portrait」を発表。TV-CFではパナソニック「Let's Note」03年度版を書き下ろした。タイトルは「forest rain」。

2004年2月、「バリ国際ジャズ・フェスティバル」にボサノヴァユニット「ブラジリアン・ユニット」で参加。3月にはプラハでストリングスとプラハ出身で人気のベーシスト、ジョージ・ムラーツを迎え録音された「PRAHA」をリリース。そのサウンドは木住野の新しい世界と音楽性を感じさせ、ジャンルを拓いたサウンド創りはスケールあるアーティストとして大きな成長をとげた。この年、韓国で初めてTV出演とライブを行い成功を収めた。

そして2005年3月23日デビュー10周年を迎え、オリジナル集「Heartscape」とスタンダード集「Timescape」を2枚同時発売し、日本人で初めてSwingJournal誌ゴールドディスクを2枚同時獲得。またパナソニック新ビエラのCMで「ショパンノクターン」を演奏したのをきっかけに7月には、初のクラシック・ミニ・アルバム「ノクターン・ピアノ・バラード」を発売。わずか3ヶ月で3枚のアルバムを出し、まさに木住野の新境地クラシカル・エレガンスなサウンドは話題を呼んだ。2006年にはアルバム「bossa nostalgia」を発売。また、福島トヨペットのテレビCMの音楽を担当。2007年パナソニックのココロつなぐ物語「12月のホテル」の作詞、編曲、演奏を担当。2008年4月通算14枚目となる最新アルバム「FACE」を発売。

現在は、ソロ、ジャズトリオ、ボサノヴァユニット、withストリングスなど自身のグループの他、鈴木重子、藤原道山、白鳥英美子、上松美香、西村由紀江などとコラボレーションなどの演奏、映画音楽、TV-CMの作曲・演奏など多彩な音楽性で活動を展開し、優美で端正なその音色はジャズの域を超え独自の音楽性を確立し、不動の人気、実力派ピアニストとしての地位を得ている。



## ベーゼンドルファーピアノ

ベーゼンドルファー社はモーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、リストなど、音楽歴史に名前を残した偉大な作曲家たちを輩出した「音楽の都・ウィーン」で、1828年にイグナツ・ベーゼンドルファーによって創業されました。ベーゼンドルファーは数多くの大作曲家、巨匠と呼ばれるピアニストの助言によって研究と改良を続け、「ウィナートーン」と呼ばれる美しい音色を生み出しました。音楽家の中で特に交流が深く、ベーゼンドルファーピアノを世に知らしめたのは、激しい超絶技巧のピアニストとしてヨーロッパ中を湧かせていたフランツ・リストでした。リストはピアノについて実に要求が多く、そればかりでなく彼の演奏はエネルギーに満ちたもので、演奏会で2〜3曲弾き終えるとピアノが大抵使用できなくなるほどでした。その中でも彼の激しい演奏に耐えた唯一のピアノがベーゼンドルファーだったのです。その後、ベーゼンドルファーはリストの名声と共に世界中に知れ渡っていきました。その後、演奏会場の大型化やオーケストラの大規模化に対応するためベーゼンドルファーも他のメーカー同様に音量増大と強度の課題に取り組みますが、演奏家と聴衆の「強い音」に対する要求が高まる中にあってもベーゼンドルファーは聴衆の心をひきつけるピアノに対する意識を高く持ち続け、商業ベースに流されることなく丁寧な手作業による製造を維持し続けてきました。

ベーゼンドルファーは創業より180年が経過していますが、まだ48,000台しか製造しておらず、年間の製造台数は350台ほどです。これは、ベーゼンドルファーが伝統的な音色、技術を重視し、大量生産ではなく優れた技術者たちが十分に時間をかけて造り出していく「芸術品」であることを表しています。オフィシャル・アーティストが奏でる美しいメロディーをたっぷりとお楽しみください。

木住野 佳子 ピアノコンサート